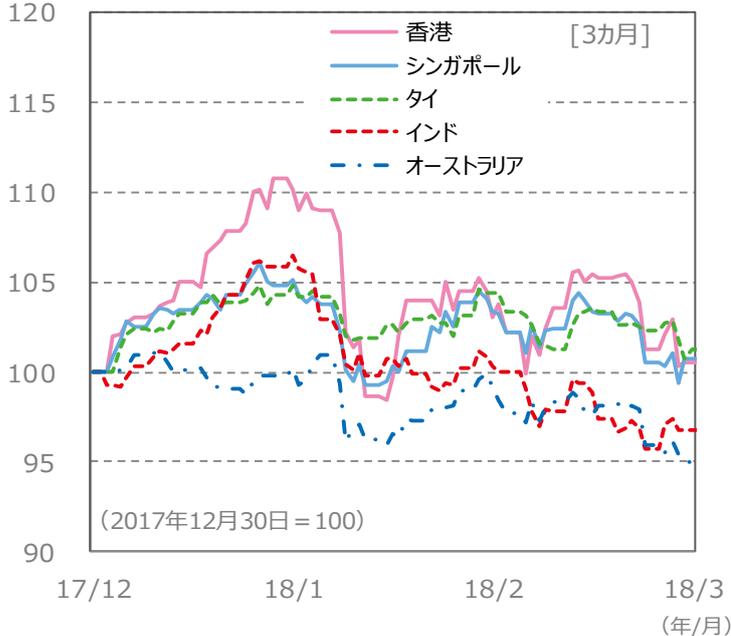


先週の振り返り

先週のアジア株式市場は、高安まちまちの動きでした。27日に米中が貿易戦争回避に向けて対話の可能性を好感して上昇する一方、米国が国際緊急経済権限法の発動を検討しているとの報道から再び緊張が高まるなど、米中関係を巡る思惑がアジア株式市場でも主な変動要因となりました。また、アジア通貨は、朝鮮半島を巡る当面の軍事衝突リスクが後退したことを受けた円安により、対円で上昇しました。

(ポイント) 【国・地域別の株価指数の推移】 [3か月]



(ポイント) 【国・地域別の株価指数の推移】 [3年]



【国・地域別の株価指数 (現地通貨ベース)、為替レート】

国・地域	先週末値 (ポイント)	騰落率 (%)				
		1週間	3か月	6か月	1年	3年
香港 (ハンセン指数)	30,093.38	▲0.7	0.6	9.2	23.8	21.1
シンガポール (ST指数)	3,427.97	0.2	0.7	6.5	8.0	▲0.8
台湾 (加権指数)	10,906.22	0.8	2.5	5.0	10.7	14.5
韓国 (KOSPI指数)	2,445.85	1.2	▲0.9	2.1	13.0	20.5
タイ (SET指数)	1,776.26	▲1.0	1.3	6.2	12.4	18.7
インドネシア (ジャカルタ総合指数)	6,188.99	▲0.3	▲2.6	4.9	10.7	13.8
インド (SENSEX指数)	32,968.68	1.1	▲3.2	5.4	11.2	17.8
オーストラリア (S&P/ASX200指数)	5,759.37	▲1.1	▲5.0	1.4	▲2.3	▲1.5
米国 (ダウ工業株30種平均)	24,103.11	2.4	▲2.5	7.6	16.3	34.1
日本 (日経平均)	21,454.30	4.1	▲5.8	5.4	12.5	10.5
為替レート (対円)	先週末値 (円)	騰落率 (%)				
香港ドル	13.54	1.4	▲6.0	▲6.0	▲6.0	▲12.6
シンガポールドル	81.04	1.8	▲3.9	▲2.2	1.2	▲7.1
台湾ドル	3.65	1.7	▲3.7	▲1.6	▲1.1	▲4.8
韓国ウォン (100ウォン当たり)	10.01	3.6	▲5.2	1.9	0.1	▲7.6
タイバーツ	3.41	1.5	▲1.5	0.9	4.9	▲7.5
インドネシアルピア (100ルピア当たり)	0.77	1.7	▲6.9	▲7.5	▲8.0	▲15.8
インドルピー	1.63	1.2	▲7.6	▲5.4	▲5.5	▲14.9
オーストラリアドル	81.61	1.2	▲7.3	▲7.4	▲4.6	▲11.2
米ドル	106.28	1.5	▲5.7	▲5.5	▲5.0	▲11.5

(注) データは、左グラフが2017年12月30日~2018年3月30日。右グラフが2015年3月30日~2018年3月30日。
 グラフの各国・地域別の株価指数は表と同じ。為替の騰落率がプラスの場合は各国通貨高・円安、マイナス▲の場合は各国通貨安・円高。
 (出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的財産その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。